

教 育 長 様

代表者 校 園 名： 大阪市立本田小学校 公印
 校 園 長 名： 銭本 三千宏
 電 話： 6581-1531 F A X： 6581-3194
 申請者 校 園 名： 大阪市立本田小学校
 職 名・名 前： 指導教諭 今村 友美
 電 話： 6581-1531 F A X： 6581-3194
 代表者校 園 事務職員名： 大谷 由香

平成 29 年度 「がんばる先生支援」グループ研究 報告書

◇ 平成 29 年度「がんばる先生支援」グループ研究について、次のとおり報告します。

1	研究コース：
	グループ研究 A コース ・ グループ研究 B コース
	いずれかを○で囲んでください。 新規研究 （1 年目） 継続研究 ：（ 2 年目 3 年目 ）
2	研究テーマ
	音楽科教育で子どもが安心して成長できる安全な社会を実現する ～花乃井中学校下 3 小学校の連携～
	<p>◆ 研究内容のキーワード：</p> <p>大阪市教育振興基本計画（安心して成長できる安全な社会の実現） 3 小学校の連携 自尊感情を高める エル・システム 資質・能力 コミュニケーション能力 よりよい集団育成 他者を思いやる心 向上心 多様な考えを受け入れる力 創造する力 協働する力 困難を乗り越える力 主体的・対話的で深い学び</p>
3	研究目的：
	<p>○大阪市教育振興基本計画の子どもが安心して成長できる安全な社会の実現を図るため、東日本大震災の復興時に注目を集めたエル・システムの手法をもとに、音楽科教育を研究する。</p> <p>○音楽科教育を通じて学びに向かう力・人間性等を身に付け、社会で活用できる児童を育成する。</p> <p>○音楽科における資質・能力を育成するための、主体的・対話的で深い学びの視点を生かした学習内容・指導方法の研究を行う。</p> <p>○3 小学校の子どもたちの学びが豊かなものになるよう、定期的に研究会を実施したり、先進的な授業研究会に参加したりして、教員の指導力向上を図る。</p> <p>○先進的研究校から講師を招聘し、公開授業研究会・実技研修会を企画・運営し、大阪市全体へ発信する。</p>
4	取り組んだ研究内容：
	<p>①音楽科における資質・能力の育成を目指した学習内容・指導方法の研究結果を発表するため 公開授業研究会の実施① 6 月 24 日（土）：本田小学校</p> <p>②先進的研究校から講師を招聘し公開授業研究会・実技研修会を企画・運営し、大阪市全体へ発信するため 公開授業研究会の実施② 10 月 12 日（木）：本田小学校 講師：筑波大学附属小学校平野次郎先生</p> <p>③音楽科教育を通じて学びに向かう力・人間性等を身に付け、社会で活用できる児童を育成するため 近畿音楽教育研究大会での発表 11 月 17 日（金）：NHKホール 本田小学校 6 年生 ・発表に向けてのグループメンバーによる指導 9 月 27 日（水）・10 月 13 日（月）</p> <p>小学校教育研究会音楽部（一次発表）演奏発表 2 月 2 日（金）：三軒家東小学校 西船場小学校 4 年生</p> <p>④子どもが安心して成長できる安全な社会の実現を図り 3 小学校の子ども達の学びを豊かなものにするため 西区合同音楽会出演 11 月 28 日（火）：オリックス劇場 明治小・本田小 6 年生、西船場小 5・6 年生 3 小学校での音楽交流や音楽科出前授業など 5 月 8 日（月）：西船場小学校 6 月 14 日（水）・7 月 5 日（水）・9 月 15 日（金）・10 月 4 日（水）・11 月 18 日（水）：明治小学校 11 月 20 日（月）・11 月 22 日（水）：本田小学校</p>

⑤先進的な授業研究会や研修会に参加して、教員の指導力向上を図るため

授業研究会・研修会への参加 8月8日(火)9日(水)夏の音楽教育セミナー：日経ホール
8月9日(水)10日(木)夏期音楽教育研究のつどい：高槻現代劇場
8月22日(火)23日(水)音楽グルメの会夏季研修：国際交流センター
9月17日(日)18日(月)UD授業研究会・音楽授業ファクトリー：筑波大学附属小学校
1月21日(日)音楽授業ファクトリー：筑波大学附属小学校
1月27日(土)音楽推進教育冬季研究会：東京都ひぐらし小学校
2月9日(金)10日(土) 学習公開・初等教育研究会：筑波大学附属小学校

5 成果・課題：

○子どもが安心して成長できる安全な社会の実現

西区合同音楽会での演奏発表という同じ目標に向かって、花乃井中学校下3小学校が連携して音楽科教育に取り組むことができた。**年間9回**の他校の教員による出前授業や音楽交流によって、学校間差のない音楽教育を保障した。友達と一緒に声を合わせて歌を歌ったり、心地よいハーモニーをつくるために友達の音に耳を傾けたり、納得のいく演奏をするために練習をしたりすることによって「他者を思いやる心」「適切な人間関係を図るコミュニケーション能力」を育むことができた。また、音楽を専門的に研究している教員が授業を行うことは、3小学校の子どもだけでなく、教員の資質向上にもつながった。西区合同音楽会では3校の児童がそれぞれ納得のいく演奏をすることができた。演奏会后、子どもに行ったアンケート調査では、**自分の演奏についての満足度していると答えた子どもが93.8%、聴いている人に感動を与えられたと感じた子どもは90.7%**だった。この結果からも、子ども達の自尊感情を高めることができたことがわかる。また、今回の取り組みで、子ども同士のつながり、教員同士のつながりも強化され、結果コミュニティ力の強化が図れたと言える。

○音楽科における資質・能力の育成

「音楽を表現するために必要な知識や技能の習得」(知識・技能)、「これまでに獲得した知識・技能を活用して新たなアイデアや考えを生み出し表現に活かす力の育成」(思考力・判断力・表現力)「主体的に音や音楽と関わり試行錯誤しながら音楽活動を楽しむ態度」(学びに向かう態度・人間性)に主眼を置いて授業を構築し、年間を通して実践に取り組んだ。

6月、10月それぞれに行った公開授業研究会は、多くの参加(それぞれ100名以上)があった。10月の公開授業研究会のアンケートは、**授業や研究発表に対する肯定的な回答が95%を超えていた。「知識の習得だけでなく、仲間の演奏から良さを感じ、互いに学び合う態度を育ておくことの重要性を学んだ。」「新しい考え方や投げかけ方を教えてもらえた。」「子ども達の創意工夫がどんどん広がっていくことが授業からよくわかった。」「課題が焦点化され、子ども達の興味・関心に合った授業だった。」「子ども達が主体的に音楽をつくっていきこうとする意欲も高く、周りの子ども達が音楽を言語化できる力も高かった。」**など、音楽科における資質・能力が育成できていることを示す内容が書かれていた。10月の公開授業研究会の様子は、**西区の広報誌と月刊誌『教育音楽』12月号でも紹介され、広く研究内容を発信することができた。**

近畿音楽教育研究大会での演奏は非常に難易度の高い合奏曲に挑戦したが、子ども達は困難を克服するために長期にわたり努力を重ね、見事なサウンドをつくりあげることができた。

○教員の指導力の向上について

研究会・研修会への参加、グループ内での伝達講習、出前授業や音楽交流を通じて教員の指導力を向上することができた。筑波大学附属小学校の平野次郎教諭を招聘した。平野教諭には教材研究の段階から関わっていただけた。教材についての解釈や、授業の組み立て・発問など、様々な角度から助言していただき、新たな教材「ブルースの音楽づくり」で授業を公開することができた。

西船場小学校教員・本田小学校教員は夏の音楽科実技研修会で講師を務め、大阪市の教員に器楽・音楽づくり・鑑賞についての教材を紹介した。

(太字は、検証方法に基づく数値等を含む研究成果)

6 研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。

①ICT公開授業研究会	日時：平成29年6月20日	場所：本田小学校	参加者数：約300名
②音楽科公開授業研究会	日時：平成29年10月12日	場所：本田小学校	参加者数：約120名
③近畿音楽教育研究大会大阪大会	日時：平成29年11月17日	場所：NHKホール	参加者数：約1700名
④西区合同音楽会	日時：平成29年11月28日	場所：オリックス劇場	参加者数：約2400名
⑤教育研究会音楽部一次発表	日時：平成30年2月2日	場所：三軒家東小学校	参加者数：約300名

添付資料：①10月公開授業研究会冊子②月刊誌『教育音楽』掲載記事③ICT公開授業研究会学習指導案④近畿音楽教育研究大会大阪大会報告書⑤西区合同音楽会プログラム